

文化創造インキュベーション施設におけるマネージャー業務の検討に 向けたサウンディング型市場調査結果

1 調査内容

- (1) 申込受付期間
平成30年12月17日～平成31年1月11日
- (2) 募集対象者
文化創造インキュベーション施設のマネージャー業務に携わりたいと
考えている個人又は法人
- (3) 提案者との個別対話の実施
平成31年1月29日～2月1日（参加者数：10事業者）

2 実施結果

- (1) 対話実施数 10事業者（法人6者、個人4者）
（創業支援関係事業者、アート関係事業者、まちづくり関係事業者 等）
- (2) 提案内容の概要（提案書及び個別対話における主な提案内容）
別紙のとおり

3 今後の方向性

多岐に渡る分野の事業者から、マネージャーの業務内容や役割等についての様々なご提案を得ることができました。

また、施設全体の魅力づくり等についてもご提案をいただきました。

今回の調査結果を踏まえ、マネージャーの募集方法や選定要件を整理し、検討を重ねてまいります。

対話の結果概要（主な提案及び対話内容）

1 マネージャーの役割・業務内容について

《マネージャーの業務》

- ・マネージャーの業務について、以下のようなご意見がありました。
 - 入居者の創業支援
（プログラムの企画・立案、経営・財務、販路開拓・広報等）
 - 入居者同士の交流、地域との交流のサポート（マッチング役）
 - 施設のブランディング
 - イベントの企画・運営
（施設運営管理者と連携し、適宜、役割分担することも考えられる）

《マネージャーと施設運営管理者との関係》

- ・マネージャーと施設運営者との関係について、以下のようなご意見がありました。
 - マネージャーと施設運営者は一体（J V（共同企業体）も考えられる）
 - マネージャーと運営管理者はそれぞれが独立した存在
（ただし、両者を調整する役割が必要）
 - 入居者にとって、誰に相談等をすれば良いのかがわかりやすい状態であること
（複雑にしないこと）が求められる

《川越市に求めるサポートや役割分担》

- ・川越市に求めるサポートや役割分担について、以下のようなご意見がありました。
 - 施設の情報発信や広報支援（ブランディングやプロモーションなど）
 - 公的助成金・補助金に関する情報提供や手続支援
 - 入居者の住まいに対する家賃補助

《マネージャーの勤務形態（体制）や待遇》

- ・勤務体制について、以下のようなご意見がありました。
 - チーフマネージャーと複数のアシスタントマネージャーによる体制
 - コンセプト等に応じた専門的な知識を持った複数のマネージャーによる体制
- ・勤務形態については、以下のようなご意見がありました。
 - マネージャーは必ずしも常駐する必要はない
（入居者のための情報収集等の活動を自由に取り組める環境を保障しておくことの方が重要）
 - 入居者への日常的なサポートは、常駐するスタッフ（アシスタントマネージャー等）が対応する

- ・雇用形態については、以下のようなご意見がありました。
 - 委託契約でも問題ない（3～5年程度の契約が望ましい）
 - 任期を2年程度とした特定任期付職員としての雇用も考えられる

《マネージャーの人物像》

- ・マネージャーに求める人物像について、以下のようなご意見がありました。
 - 多様な主体等との対話力（調整・連携能力）やバランス能力がある人
 - モノゴトの計画力やカタチにする実行力がある人
 - 社会（人材）とのネットワークやマッチング能力がある人
 - 総合的なマーケティング能力がある人
 - 必ずしも入居者の募集分野に関する専門知識は必要ない
 - 施設の成長（成熟度）に応じて、エリアマネジメント能力も備わっていることが望ましい

《マネージャーの募集・準備期間》

- ・マネージャーの募集期間については、3か月程度は必要と思われるといったご意見がありました。
- ・施設開設までの準備期間（マネージャーが決まっている時期）については、マネージャーが入居者の選定に関わることが望ましいため、最短6か月前から最長2年程度は必要といったご意見がありました。

2 マネージャー業務を進める上での提案等について

《入居者集めのアイデア》

- ・入居対象者については、以下のようなご意見がありました。
 - 川越独自の歴史・文化・伝統、これらを未来に継承していくといった視点（テーマ）を取り入れる
 - 施設の特徴づけを考慮した募集分野の絞り込み
（一方で、創造的活動は一生涯のものであるため、分野や年齢等をあまり狭めずに柔軟な対応も求められる）
 - 施設の持続性・発展性・創造性などを考慮した募集分野に対する入居者のバランス設定
 - 入居者のクオリティ（能力レベル）を確保するための基準や募集方法等の検討
 - 副業として事業に取り組む人たちも対象とする
 - オリジナリティを持った販路開拓の仕組みの提供
 - 入居者募集は、施設完成後からが望ましい

《施設の魅力づくり》

- ・施設の魅力づくりについて、以下のようなご意見がありました。
 - 入居しようとする者にとって魅力となるカリスマ性のある人に入居してもらう
 - 入居者へのサポートも含めた卒業生とのネットワークづくり
 - まちからみて、楽しいことや面白いことをやっていることが伝わる施設づくり
 - ステータスやロイヤリティが感じられること
 - 大学と立ち離れた個人が持てるアトリエとの中間（つなぎ）となるような施設づくり（機能の導入）
 - この施設だけで完結せずに、地域等とも連携（活動）できるような仕組みづくり

3 その他について

- ・交流機能施設について、以下のようなご意見がありました。
 - 地域と施設（入居者）とをつなぐ役割（機能）が主目的であれば、一体的に施設の運営管理を行うことは可能
（ただし、この施設で運営管理費等を稼ぐことが求められるのであれば、一体的に取り組むことは難しい）